

VOL.5

日本福音伝道会 東京地区
インマヌエル新生教会
 IMMANUEL SHINSEI CHURCH

はつ 穂 初穂

教区主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸 牧師 司祭 ステパノ 卓 志雄

2020年12月～2021年10月(新聖堂完成予定)まで、連絡は池袋聖公会伝道所へ

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-24-5 電話：03-3986-4709 FAX 03-3986-4180

MAIL: immanuel@shinsei.org HP: <http://immanuel-shinsei.org>

『新しいぶどう酒は、新しい革袋に』

牧師 司祭 ステパノ 卓 志雄

『新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。』(マタイによる福音書9章17節…聖書協会共同訳)

誰もが知っている聖書箇所です。最近ハットボトルの中に入っているぶどう酒(ワイン)もありますが、わたしたちが考える一般的なぶどう酒はビンに入っているものでしょう。ですからぶどう酒を革袋に入れるという表現はピンと来ませんが、聖書が書き記された当時は、水やぶどう酒などの飲み物は革袋に入れて持ち運ばれていました。

当時の人々にとって、革袋は生活の必需品でした。新しい革袋には柔軟性がありますが、長年使っている革袋はだんだん柔軟性を失い、固くなってヒビが入っていきます。そして古い革袋に、新しいぶどう酒を入れてしまうとどうなるのでしょうか。

新しいぶどう酒が発酵することによって生成される炭酸ガスで革袋がふくれあがり、ついには破けてしまう恐れがあります。柔軟性のある新しい革袋なら大丈夫ですが、古くて柔軟性を失った古い革袋は破けてしまい中身の新しいぶどう酒

が流れ出て、外の革袋も使い物にならなくなってしまうのです。

イエス様はそれまでのユダヤ教の律法に縛られて、古い不自由な慣習と、人の罪深さを責め、自由を奪う宗教体制に支配されていた人々に対して「喜ばしいお知らせ」すなわち「福音」を新しく与えてくださいました。それと共に新しい福音に相応しい器を備えるように促しました。今までは全く別の考え方と行動様式が必要であることを語られ、新しい生き方を切り開くようにと『新しいぶどう酒は新しい革袋に』のお話を語られました。イエス様の弟子たちもイエス様の教えに従って歩んでこられ、わたしたちもイエス様によって与えられた福音を受け入れ、救われ、既に新しくなったぶどう酒として日々新しいぶどう酒であり続けようと、新しい生き方を求め共に歩んでいます。

そしてわたしたち教会共同体もイエス様によって『新しいぶどう酒』になりました。池袋聖公会、東京聖マルチン教会、練馬聖ガブリエル教会が、教会の原点である「宣教」「礼拝」「交わり」「奉仕」などを今までより大事にして実践していくために「インマヌエル新生教会」とし

て生まれ変わりました。そしてイエス様によって一つとなったわたしたちインマヌエル新生教会に新しい礼拝堂が与えられようとしています。「新しい革袋」です。

「新しい革袋」であるインマヌエル新生教会の新礼拝堂及び牧師館の建築はほぼ終わりました。これから、是正工事、教会備品の引越、教会の内覧会、礼拝堂の聖別などを予定しています。詳細については改めてご連絡させて頂きます。新しい礼拝堂で皆さんと共に礼拝を献げ、交わりを深め、福音を宣べ伝えるために最後の準備を行っています。上述したように物理的な準備は教会委員およびそれぞれの担当者の方々、そして教会の皆さんときちんと行いたいと思います。

何より皆さんにお願いしたいのは祈りを献げることです。

「新しい革袋」がイエス様の愛、恵み、慰め、癒しなど神の賜物を共に分かち合う場所となることを祈りましょう。

「新しい革袋」がイエス様と隣人を覚えて共に礼拝を献げる場所となることを祈りましょう。

「新しい革袋」がイエス様と隣人と共に愛の交わりを深める場所となることを祈りましょう。

「新しい革袋」がイエス様の代わりにイエス様の愛を必要とする隣人に仕える場所となることを祈りましょう。



完成予定 8月中旬 / 礼拝堂聖別式 11月6日 / 初主日聖餐式 11月7日

新礼拝堂、完成間近！

撮影 / 2021年7月27日



2階聖堂（祭壇側から見た聖堂入り口）



2階、階段踊り場から見た入口